

東京国際交流館のレジデント・アシスタント制度の実施に関する細則を次のように定める。

平成 16 年 4 月 1 日

独立行政法人日本学生支援機構

理事長 北 原 保 雄

東京国際交流館のレジデント・アシスタント制度の実施に関する細則

(目的)

第 1 条 この細則は、東京国際交流館規程（平成 16 年規程第 29 号）第 18 条の規定に基づき、東京国際交流館（以下「交流館」という。）の留学生・研究者宿舍（以下「宿舍」という。）で実施するレジデント・アシスタント制度に関して、必要な事項を定めることを目的とする。

(レジデント・アシスタント制度の目的)

第 2 条 レジデント・アシスタント制度は、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）が、交流館の宿舍にレジデント・アシスタント（以下「RA」という。）として日本人学生を入居させ、居住する外国人留学生や外国人研究者（以下「留学生等」という。）の相談に応じ、生活上の指導・助言等を行うことで、留学生等が安心して日常生活を送り、その留学目的の円滑な達成に寄与するとともに、併せて日本人学生の国際的な経験・視野を広げることを目的とする。

(資格)

第 3 条 RA になることができる者は、次の各号のすべてに該当するものとする。

- (1) 我が国の大学の大学院に所属する優秀な日本人学生で、宿舍から通学可能な者
- (2) 留学生等の日常生活及び勉学上の相談、指導及び助言を行うとともに、国際交流プログラムに積極的に協力する者

(活動内容)

第 4 条 RA は、宿舍の各階に居住し、交流館と協力しつつ、別に定める RA マニュアル等に基づき、交流館が指定する担当留学生等に対する次の各号に掲げる活動を行うものとする。

(1) 相談活動と報告等

ア 相談活動

イ 定例の RA 会議への出席及び報告書の提出

(2) 緊急時の対応及び講習の受講等

ア 火災、病気、けが等の事故発生時の対応

イ 防災訓練への参加・協力

(3) 国際交流事業への参加・協力

ア ウェルカム・パーティー，フェアウェル・パーティー及び文化祭への参加・協力

イ 交流館と外部団体との交流プログラム等への参加・協力

ウ 自主的な活動の企画・実施（スポーツ大会，ハイキング，工場見学，交流会等）

(4) 入退去時の手続き等への協力

ア 入居者受入時のオリエンテーション補助（宿舎内、居室内備品等の使用説明等）

イ 宿舎内及び近隣の案内

ウ 居室の使用方法についての説明

エ 入居規則の説明

オ オリエンテーションへの参加

(5) 入居者への生活指導等

ア 共用施設・設備の衛生維持の呼びかけ

イ 交通安全・防災等の安全についての啓発

ウ 他の入居者の生活を妨げる行為を行う者に対する指導・助言

(6) その他留学生等の福祉・援助に係る交流館業務への協力

(RA リーダー)

第5条 宿舎の各階ごとに，RA リーダーを定める。

(ミーティング及び報告等)

第6条 RA リーダーは，週1回，RA を召集してミーティングを行い，RA 同士の連携強化を図るとともに，留学生等に有益な情報交換及び意見交換を行う。

2 RA リーダーは，月1回，ミーティングを行い，各棟，各階の意見の交換を行う。

3 館長は，適時に RA とのミーティングを行い，RA の活動状況等について意見を交換する。

4 RA は，各月の活動内容を取りまとめ，別に定める関係書類により，館長に報告するものとする。

(手当等)

第7条 館長は，RA に対して手当又は謝金を支給することができるものとし，その額等は，別に定める。

(雑則)

第8条 この細則に定めるもののほか，この制度に関し必要な事項は，別に定める。

附 則

1 この細則は，平成16年4月1日から施行する。

2 この規程の施行期日前において，財団法人日本国際教育協会の「レジデント・アシスタント制度実施要項」（平成14年9月2日最終改正）に基づきレジデント・アシスタントとして会館に入居していた者については，この細則に基づきRAに当たっていたものとみなす。

3 この規程の施行期日前に，財団法人日本国際教育協会がレジデント・アシスタン

ト制度に関してした処分，手続その他の行為であって独立行政法人日本学生支援機構法（平成 15 年法律第 94 号）附則第 13 条の規定に基づき，機構が継続した権利，義務に係るものについては，この細則の相当する規程によりした処分，手続きその他の行為とみなす。